

データ プロジェクター

取扱説明書

VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525
VPL-SX535

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。
ソニーの相談窓口を確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

目次

はじめに

各部の名前と働き	3
本体	3
接続端子	4
リモコンと操作部	5
インタラクティブペンデバイス (VPL-SW535C/SW525Cのみ)	8

準備

接続のしかた	9
コンピューターとの接続	9
ビデオ機器との接続	10
外部モニター、オーディオ機器との 接続	12

映像の投写と画面の調整

映像を投写する	13
映像を調整する	15
電源を切る	18

メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた	19
画質設定	21
画面モード	23
機能設定	27
操作設定	28
接続／電源設定	29
設置設定	31
情報	32

ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用する	33
ウェブブラウザでプロジェクターの コントロール画面を開く	33
プロジェクターの状態を確認する	34
プロジェクターを操作する	35
メールレポート機能を利用する	35

インタラクティブ機能

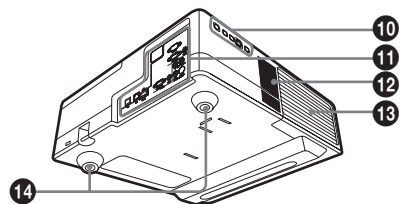
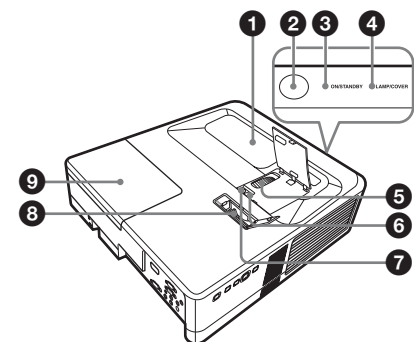
インタラクティブ機能を使用する	37
USB ケーブルでコンピューターと 接続する	39
Windows の場合	39
Mac の場合	44

その他

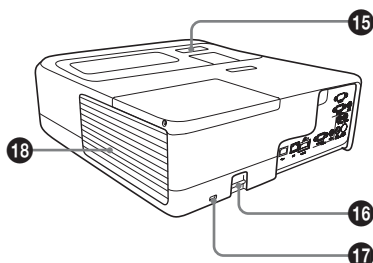
インジケータの見かた	49
メッセージ一覧	50
故障かな？と思ったら	51
ランプを交換する	54
エアフィルターを掃除する	56
仕様	58
投写距離とレンズシフト量	65
寸法図	69
保証書とアフターサービス	74
索引	75

各部の名前と働き

本体



- ① 投写窓
- ② リモコン受光部
- ③ ON/STANDBY インジケーター (49 ページ)
- ④ LAMP/COVER インジケーター (49 ページ)
- ⑤ フォーカスリング (15 ページ)
- ⑥ レンズシフトダイヤル V (15 ページ)
- ⑦ レンズシフトダイヤル H (15 ページ)
- ⑧ ズームレバー (15 ページ)
- ⑨ ランプカバー (54 ページ)
- ⑩ 操作部 (5 ページ)
- ⑪ 接続端子部 (4 ページ)
- ⑫ スピーカー



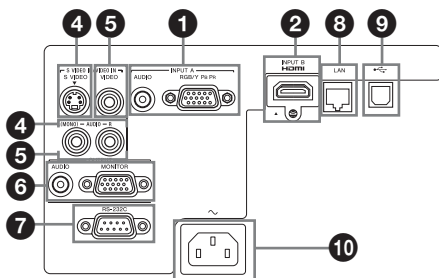
- ⑬ エアフィルターカバー／吸気口 (56 ページ)
- ⑭ 脚 (16 ページ)
- ⑮ センサー受光窓 (VPL-SW535C/SW525C のみ)
- ⑯ 盗難防止用バー
市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。
- ⑰ 盗難防止ロック
Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。
<http://www.kensington.com/>
- ⑱ 排気口

⚠ 警告

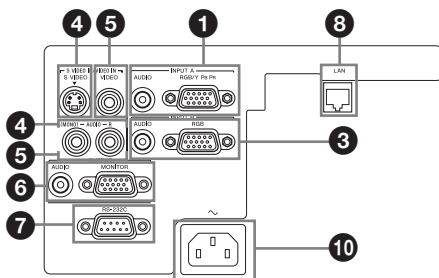
排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

接続端子

VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525



VPL-SX535



入力 (9、10 ページ)

① 入力 A (INPUT A)

映像：RGB / Y Pb Pr 入力端子
(RGB / Y Pb Pr)

音声：音声入力端子 (AUDIO)

② 入力 B (INPUT B) (VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 のみ)

映像：HDMI 入力端子 (HDMI)

音声：HDMI 入力端子 (HDMI)

③ 入力 B (INPUT B) (VPL-SX535 のみ)

映像：RGB 入力端子 (RGB)

音声：音声入力端子 (AUDIO)

④ S ビデオ (S VIDEO IN)

映像：S ビデオ入力端子

音声：音声入力端子 (L (MONO)
AUDIO/ R)

⑤ ビデオ (VIDEO IN)

映像：ビデオ入力端子

音声：音声入力端子 (L (MONO)
AUDIO/ R)

ご注意

S ビデオとビデオは同じ音声入力を使用します。

出力 (12 ページ)

⑥ 出力 (OUTPUT)

映像：モニター出力端子
(MONITOR)

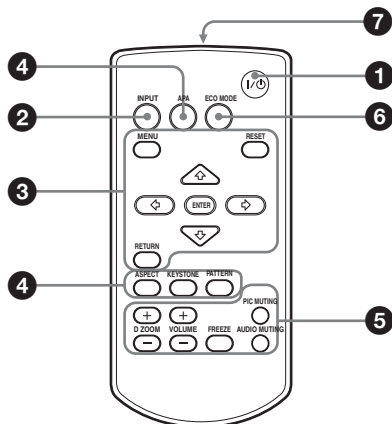
音声：音声出力端子 (AUDIO)

ご注意

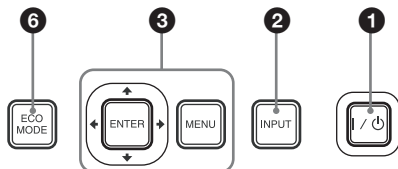
投写している映像または音声出力され
ます。映像については、RGB 入力端子
(入力 A、入力 B (入力 B は VPL-SX535
のみ)) からコンピューター信号を入力し
ているとき、または Y Pb Pr 入力端子
(入力 A) からビデオ信号を入力してい
るときに出力できます。

リモコンと操作部

リモコン



操作部



その他

⑦ RS-232C 端子 (RS-232C)

RS-232C 準拠の制御用端子です。
コンピューターの RS-232C 端子と
RS-232C ケーブル (クロス) で接続
します。

⑧ LAN 端子 (33 ページ)

⑨ USB 端子 (タイプ B) (VPL-SW535C/SW525C のみ)

⑩ 電源コンセント (～)

付属の電源コードを接続します。

① 電源を入/スタンバイする

I / ⏻ (オン/スタンバイ) ボタン

② 入力を切り換える (13 ページ)

INPUT (入力選択) ボタン

③ メニュー操作などを行う (19 ページ)

MENU (メニュー) ボタン

RESET (リセット) ボタン

ENTER (決定) / ▲/▼/◀/▶ (矢
印) ボタン

RETURN (戻る) ボタン

④ 映像を調整する (15 ページ)

ASPECT (アスペクト) ボタン
(23 ページ)

KEystone (台形補正) ボタン
(17 ページ)

PATTERN (パターン) ボタン
(17 ページ)

APA (オートピクセルアライメン
ト) ボタン* (17 ページ)

ご注意

* RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

5 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM（デジタルズーム）+/- ボタン*1

投写中の映像の一部を拡大します。

- 1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。
- 2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。
- 3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。
拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

PIC MUTING（ピクチャーミュート）ボタン

一時的に投写中の映像を消します。もう一度押すと解除します。消画中はランプ出力を低下させ、消費電力を抑えることができます。

AUDIO MUTING（オーディオミュート）ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

VOLUME（音量）+/- ボタン

音量を調整します。

FREEZE（フリーズ）ボタン*2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

ご注意

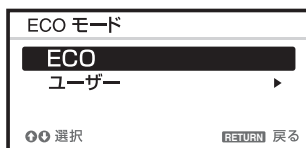
- *1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。
- *2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

6 簡単に省エネ設定をする

ECO MODE（エコモード）ボタン

「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

- 1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。

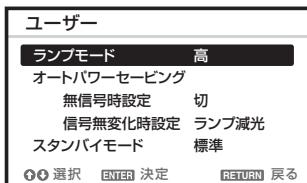


- 2 ↑/↓ ボタンまたは ECO MODE ボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

ECO：それぞれの設定を最も省エネになる値（ランプモード：「低」／無信号時設定：「スタンバイ」／信号無変化時設定：「ランプ減光」／スタンバイモード：「低」）に設定します。

ユーザー：ECO 設定を手動で行えます。（手順 3 へ）

- 3 「ユーザー」を選び、▶ ボタンを押す。
設定項目が表示されます。



- 4 ▲/▼ ボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。
5 ▲/▼ ボタンで設定値を選ぶ。
6 ENTER ボタンを押す。
元の画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、接続 / 電源設定メニュー (29 ページ) の「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」をご覧ください。

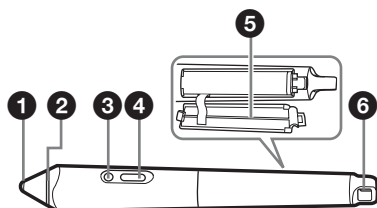
その他

⑦ リモコン発光部

リモコンの操作について

- ・リモコン受光部に向けて操作してください。
- ・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
- ・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

インタラクティブペンデバイス (VPL-SW535C/SW525C のみ)



- ① ペン先**
マウスの左クリックとして機能します。
- ② カラーリング**
メイン：青色／サブ：灰色
- ③ インジケーター**
ボタン（メインのみ）を押したとき、もしくはペン先で画面を押した際に点灯します。電池残量が少ない場合は点灯しません。その場合は、電池の交換を行ってください。
- ④ ボタン**
マウスの右クリックとして機能します（メインのみ）。
- ⑤ 電池カバー**
電池カバーはベルトにより本体につながられています。カバーを開く際にはベルトが切れないよう注意してください。
- ⑥ ストラップ取り付け穴**

接続のしかた

ご注意

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

コンピューターとの接続

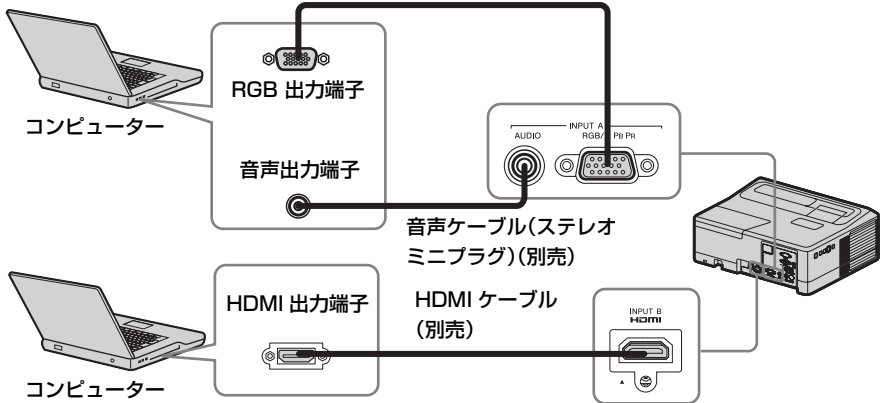
コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

入力 A (INPUT A) / 入力 B (INPUT B)

VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525

RGB 出力端子または HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。

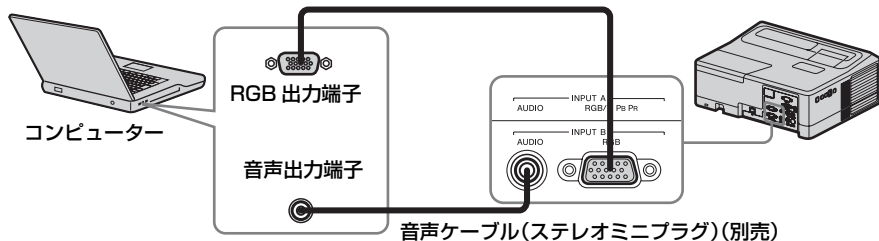
ミニ D-sub15 ピンケーブル(VPL-SW535/VPL-SX535 のみ付属)



VPL-SX535

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。

ミニ D-sub15 ピンケーブル(VPL-SW535/VPL-SX535 のみ付属)



ご注意

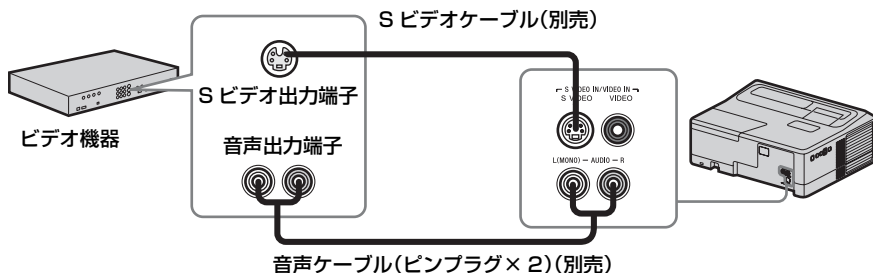
- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。
- ・ コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 は 1280 × 800 ピクセル、VPL-SX535 は 1024 × 768 ピクセルに設定することをおすすめします。

ビデオ機器との接続

VHS ビデオ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

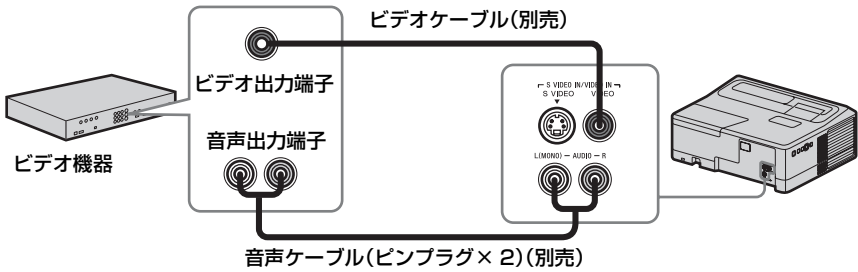
S ビデオ (S VIDEO IN)

S ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



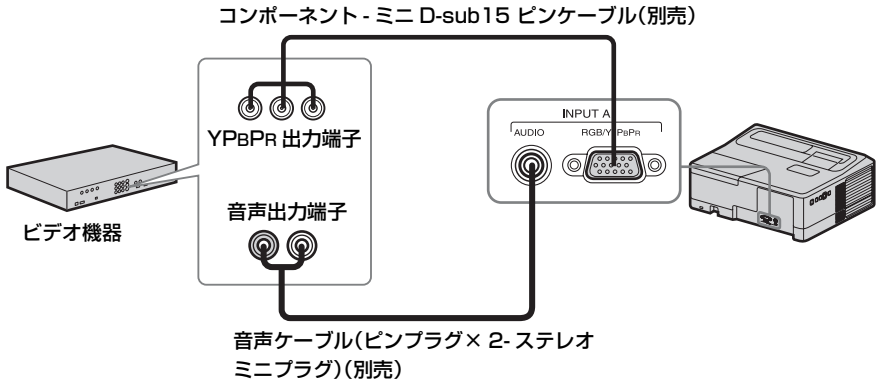
ビデオ (VIDEO IN)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



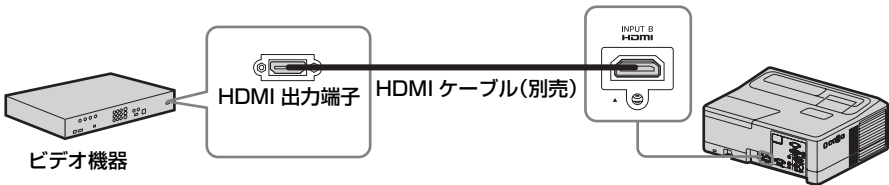
入力 A (INPUT A)

Y Pb Pr 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



入力 B (INPUT B) (VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 のみ)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



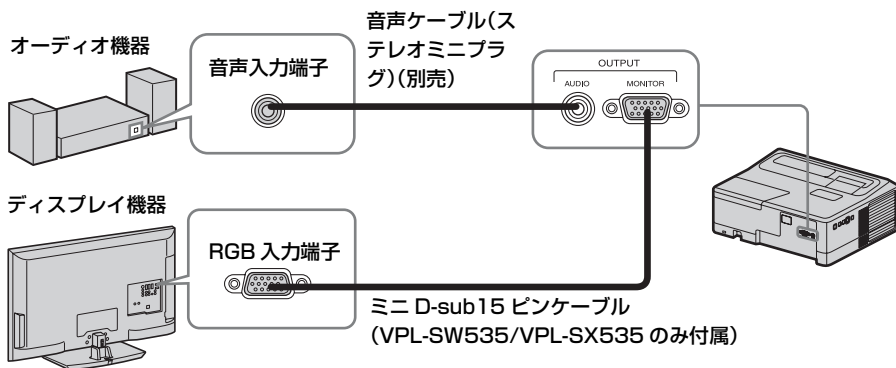
ご注意

- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

外部モニター、オーディオ機器との接続

出力 (OUTPUT)

投写中の映像または本機に入力された音声を、モニターなどのディスプレイ機器、またはアンプ内蔵スピーカーなどのオーディオ機器に出力することができます。



ご注意

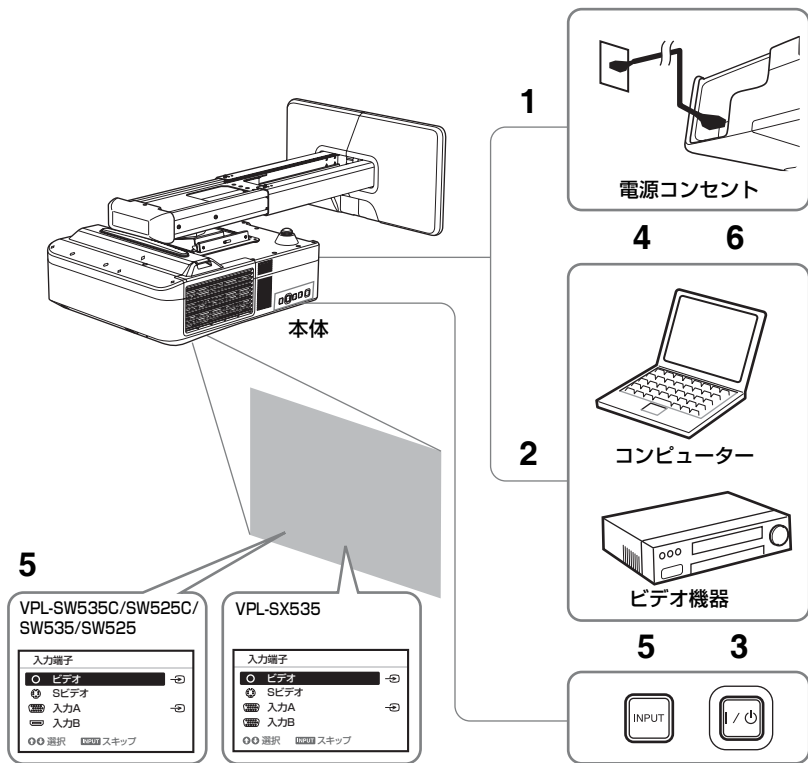
投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子 (入力 A、入力 B (入力 B は VPL-SX535 のみ)) からコンピューター信号を入力しているとき、または Y Pb Pr 入力端子 (入力 A) からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（65 ページ）をご覧ください。

ご注意

- ・ 超短焦点プロジェクターの特性上、投影する面に凹凸があると、画面が波打つ様に見えることがありますが、故障ではありません。
- ・ 画像を投影する際は平坦な面に投影してください。



1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 再生する機器と接続する（9 ページ）。

3 I/ON ボタンを押して、電源を入れる。

4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切替パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押しするか、または ▲/▼ ボタンを押し、投写する映像を選びます。

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。

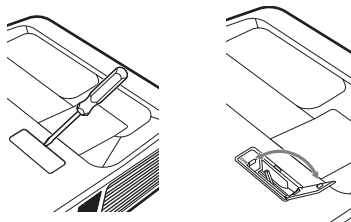
(例)



7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する (15 ページ)。

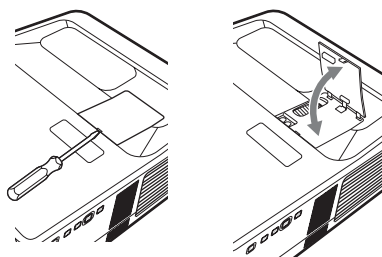
ズームレバーのカバーを開く

マイナスドライバー等を使用して、カバーを開いてください。

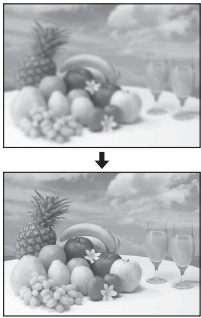

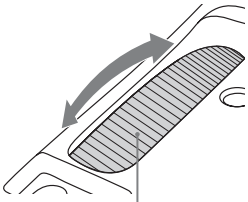
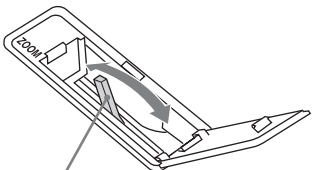




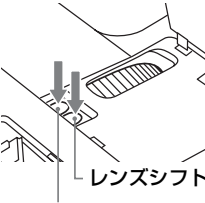
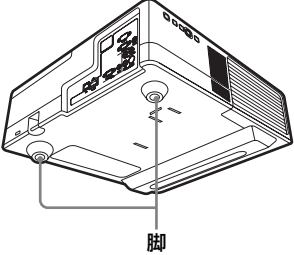
レンズシフトダイヤルのカバーを開く

マイナスドライバー等を使用して、カバーを開いてください。



映像を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)
	
 <p>フォーカスリング</p>	 <p>ズームレバー</p>

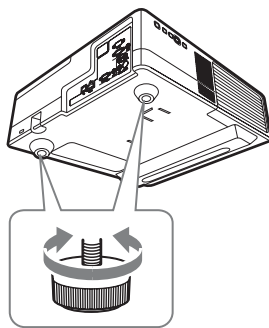
画面の位置 (レンズシフト)	画面の位置
	
 <p>調整の際はマイナ スドライバー等で 各ダイヤルを回し てください。*</p> <p>レンズシフトダイヤルV レンズシフトダイヤルH</p>	 <p>脚</p>

* 指定された量以上に、レンズシフトを調整しないでください。故障の原因となります。詳細は、投写距離とレンズシフト量（65 ページ）をご覧ください。

脚による微調整

脚を回して高さを微調整することができます。

脚を使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。



ご注意

- ・ 脚を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 脚を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。

投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの画面モードのアスペクトからも設定できます（23 ページ、25 ページ）。

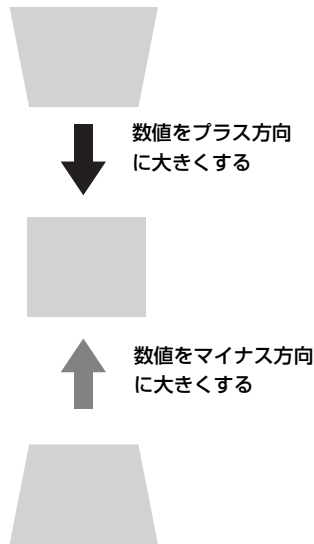
台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

画面が台形になった場合は手動でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンのKEYSTONE ボタンもしくは設置設定のV キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2 $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

- ・キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- ・レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。



調整用パターンを表示する

リモコンのPATTERN ボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンを表示することができます。もう一度PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンのAPA ボタンを押します。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。画面モードからも実行できます（23 ページ）。機能設定のスマートAPA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的にAPA を実行します（27 ページ）。

スクリーンからはみ出した映像を縮小する

- 1 設置設定メニューの「スクリーンフィット」の「デジタルシュリンク」を選び、調整メニューを表示する。
- 2 $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で数値を調整する。数値が大きくなると、画面全体が縮小されます。

ご注意

デジタルシュリンクは電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。10 秒以内に I/⏻ ボタンをもう一度押すとすぐに電源がオンの状態に復帰します。

2 電源コードを抜く。

確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/⏻ ボタンを数秒間押し続けてください。(50 ページ)

メニューの操作のしかた

ご注意

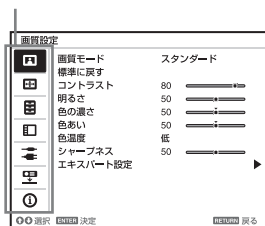
説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

2 設定したい設定メニューを選ぶ。

▲/▼ ボタンを押して設定メニューを選び、▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

設定メニュー

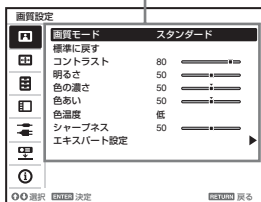


3 設定したい項目を選ぶ。

▲/▼ ボタンを押して項目を選び、▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

◀ ボタンまたは RETURN ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目



4 設定項目の設定や調整をする。

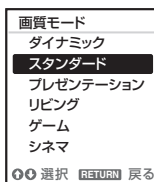
設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、3 の操作方法に従って設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押して設定を確認してください。

◀ ボタンまたは RETURN ボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中に RESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

ポップアップメニューの操作：

▲/▼/◀/▶ ボタンで項目を選びます。項目を選ぶとすぐに設定が反映されます。

ただし、「表示言語」に限り、ENTER ボタンを押すまで設定は反映されません。

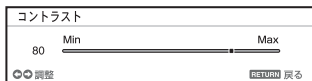


設定メニューの操作：

▲/▼ ボタンで項目を選びます。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは▲/▶ ボタンを押し、数値を小さくするときは▼/◀ ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

👤 画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	ダイナミック ：明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 スタンダード ：なめらかな階調の自然な画質になります。 プレゼンテーション^{*1} ：プレゼンテーションに適した明るい画質になります。 リビング ：スポーツ、ミュージック、デジタルビデオカメラなどの素材に適した画質になります。 ゲーム ：ゲームに適した画質になります。 シネマ ：映画鑑賞に適した画質になります。
標準に戻す ^{*7}	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ ^{*2、*4}	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい ^{*2、*4、*5}	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかります。
色温度 ^{*3}	高／中／低 ：高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
シャープネス ^{*2}	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
エキスパート設定	
フィルムモード ^{*2*6}	オート ：映画フィルム映像を原画に忠実な映像に再現します。通常は「オート」のままお使いください。 切 ：「オート」に設定していて映像の輪郭がギザギザ見えるときに選んでください。

項目	項目説明
ガンマモード*1	<p>グラフィックス 1：中間調が明るめに補正されるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を明るい場所で投写する場合に適しています。</p> <p>グラフィックス 2：中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を自然な諧調で再現します。</p> <p>テキスト：白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。</p>

ご注意

- *1：コンピューター信号入力時に選択できます。
- *2：ビデオ信号入力時に選択できます。
- *3：画質モードを「プレゼンテーション」以外に設定している場合に選択できます。
- *4：カラーバースト信号を含まない信号が入力された場合には、選択できません。
- *5：アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
- *6：プログレッシブ信号入力時には選択できません。
- *7：画質モードの値はお買い上げ時の設定に戻りません。

画面モード

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目	項目説明
アスペクト ^{*3}	投写している画面の縦横比が切り換わります。(25 ページ)
コンピューター信号入力時	フル 1 ：入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。 フル 2 ：画面いっぱいに投写します。
ビデオ信号入力時	ノーマル ：拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。 4 : 3 ：縦横比を 4 : 3 に固定し、画面いっぱいに投写します。 16 : 9 ：縦横比を 16 : 9 に固定し、画面いっぱいに投写します。 フル^{*5} ：画面いっぱいに投写します。 ズーム ：画像の中心部分を拡大して投写します。
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
APA ^{*1,4}	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します(5 ページ)。
フェーズ ^{*1}	入力信号と表示画素の位相 (フェーズ) を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
ピッチ ^{*1}	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅 (ピッチ) が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト ^{*2}	H (水平) ：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 V (垂直) ：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

ご注意

- *1：RGB 入力端子 (入力 A、入力 B (入力 B は VPL-SX535 のみ)) から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- *2：RGB 入力端子 (入力 A、入力 B (入力 B は VPL-SX535 のみ)) から入力されるコンピューター信号入力時、または Y Pb Pr 入力端子 (入力 A) から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。
- *3：・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- ・入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。

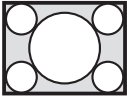
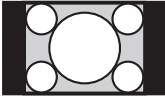
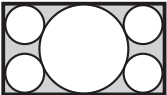
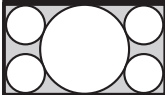
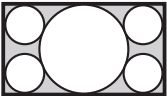
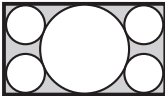
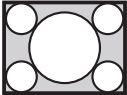
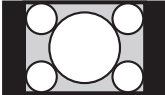
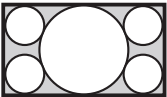
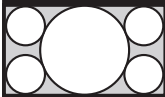
・ 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。

*4 : 投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。

*5 : VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 のみ。

アスペクトについて

VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525

	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	「4:3」 	「フル1」*1*2 
	「16:9」 	「フル1」*1*2 
	「16:10」 	「フル1」*1 
ビデオ信号	「4:3」 	「4:3」*3*5 
	「16:9」 	「16:9」*4*5 

*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



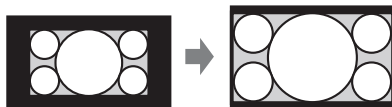
*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



*3:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。

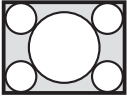
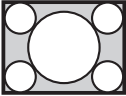
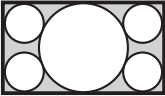
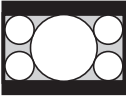
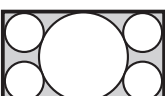

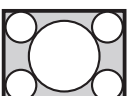
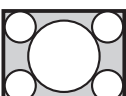
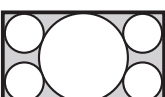



*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



*5:「フル」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピュータ信号	「4:3」 	「フル1」*1 
	「16:9」 	「フル1」*1*2 
	「16:10」 	「フル1」*1*2 
ビデオ信号	「4:3」 	「4:3」*3 
	「16:9」 	「16:9」*4 

*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



*3:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



目 機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。











項目	項目説明
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。外部音声出力の音量レベルも連動します。
スピーカー	入/切 ：「入」を選ぶと、本機のスピーカーから音がでます。スピーカーから音を出したくない場合は、「切」を選んでください。
スマート APA	入/切 ：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 ^{*1}
CC ディスプレイ	CC1 / CC2 / CC3 / CC4 / Text1 / Text2 / Text3 / Text4 ：表示する CC（クローズドキャプション）のサービス（字幕または文字情報）を選択します。 切 ：CC を表示しません。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。（54 ページ）
無信号入力時背景	ブラック/ブルー ：信号が入力されていないときの背景の色を設定できます。
スタートアップイメージ	入/切 ：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

ご注意

*1：RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX535 のみ））からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。

目 操作設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
画面表示	入 ：すべての画面表示が有効になります。 切 ：メニューの表示、警告メッセージ、お知らせなど以外の画面表示が出なくなります。
セキュリティロック ^{*1}	入/切 ：パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 <ol style="list-style-type: none">「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。MENU、///、ENTER の6つのボタンを使用してパスワードを入力する。(出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。)MENU、///、ENTER の6つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。パスワードは電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。 「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。 パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、 ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
パネルキーロック	入/切 ：「入」を選ぶと、操作部での操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。 <ul style="list-style-type: none">スタンバイ状態で、 ボタンを約10秒押す。 →電源が入ります。電源が入った状態で、MENU ボタンを約10秒押す。 →パネルキーロックが「切」になり、操作部の操作が可能になります。

*1：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。(確認方法は、販売国/地域によって異なります。)

接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

項目	項目説明
ネットワーク設定	
IP アドレス設定	<p>自動 (DHCP) : ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。</p> <p>手動 : 手動でネットワークを設定します。</p>
入力 A 信号種別	<p>オート／コンピューター／ビデオ GBR / コンポーネント : 「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。^{*1}</p>
カラー方式	<p>オート / NTSC_{3.58} / PAL / SECAM / NTSC_{4.43} / PAL-M / PAL-N : 「オート」を選ぶと、S ビデオ、ビデオを選んでいるときの映像信号のカラー方式を自動的に選びます。^{*1}</p>
省エネ設定	
ランプモード	<p>高 / 標準 / 低 : 「高」を選ぶと、映像は明るくなり、消費電力が高くなります。</p>
オートパワーセービング	
無信号時設定	<p>ランプオフ : 本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY インジケーターはオレンジ色に点灯します (49 ページ)。</p> <p>スタンバイ^{*6} : 本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。</p> <p>切 : 無信号時設定機能を無効にします。</p>
信号無変化時設定	<p>ランプ減光 : 本体に入力されている映像に変化が無い状態が続いた場合 (約 10 秒) に、ランプモードの設定からランプ出力の低減 (約 10% ~ 15%^{*3}) を徐々に行います。^{*4} また、任意の設定時間 (5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / デモ) の入力信号無変化検出により、自動的に約 30% のランプ出力へ徐々に減光します。また、減光中は「ランプ減光」のお知らせが表示されます。「デモ」を選択した場合、約 35 秒程度で減光を開始します。信号変化または、操作 (リモコン / 操作部) を検出すると、元の明るさに戻ります。^{*5}</p> <p>切 : 信号無変化時設定機能を無効にします。</p>
スタンバイモード ^{*2}	<p>標準 / 低 : 「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります</p>

項目	項目説明
ダイレクトパワーオン	入/切 :「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が「入」になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。

ご注意

- *1: 入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- *2: スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使用できなくなります。
- *3: ランプモードの設定により異なります。
- *4: ランプ減光は、時間をかけて徐々に行われるので、減光されていることに気づかない場合があります。そのため、入力信号が変化して元の明るさに戻ったときに、減光されていたことに気づく場合があります。
- *5: ランプ点灯後、約3分間はこのモードは機能しません。また、入力されている映像により信号変化/無変化を検出できない場合があります。減光した状態で使用を続けた場合、一定時間毎に明るくなる場合がありますが故障ではありません。無信号時設定が有効の場合は、その動作が優先されます。
- *6: 無入力信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合には、設定を「切」にしてください。

📄 設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
画像反転	上下左右／左右／上下／切：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
設置角度	床置き／天井つり：設置角度に応じて冷却設定を変更します。誤った設定のままで使用すると部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
高地モード*1	入／切：高地（海拔 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
スクリーンフィット	<p>V キーストーン*2*3：数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。</p> <p>デジタルシュリンク*4：画面全体を縮小します。値を「0」にすると、縮小していない状態になります。</p> <p>投写画像が、スクリーンからはみ出しているなどの場合にご使用ください。</p>

📌 ご注意

- *1：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。
- *2：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- *3：レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。
- *4：デジタルシュリンクは電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

① 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH (水平周波数) / fV (垂直周波数) ^{*1}	現在入力されている信号の水平周波数 / 垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

ご注意

*1: 入力信号によって表示されない場合があります。

ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

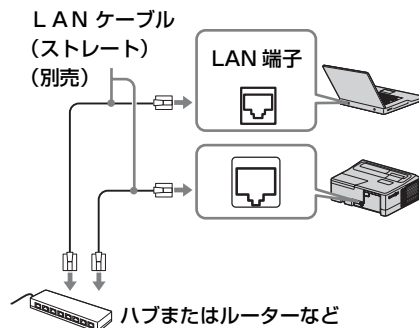
- ・ ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
- ・ ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
- ・ プロジェクターからメールレポートを受け取る。
- ・ プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- ・ 各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement、PJ Talk、PJ Link、AMX DDDP（Dynamic Device Discovery Protocol）、SNMP）に対応。

ご注意

- ・ 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
- ・ 表示可能言語は英語のみです。
- ・ コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ。



2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。

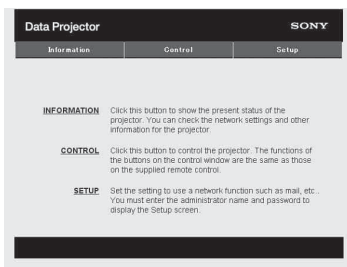
「接続／電源設定」の「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください（29 ページ）。

3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx
(xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP アドレス)

プロジェクターの IP アドレスは、「接続／電源設定」の「ネットワーク設定」で確認できます（29 ページ）。

ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。



一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順**3**の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面の操作方法

ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。



ページ切換えボタン

アクセス制限を設定する

各ページのユーザーを次のように制限できます。

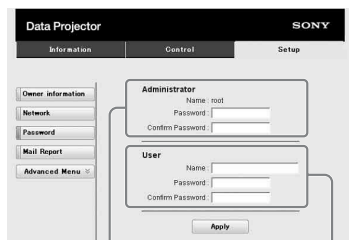
管理者：すべてのページにアクセス可能。

ユーザー：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。

初めて Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「なし」でアクセスしてください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。



「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

プロジェクターの状態を確認する

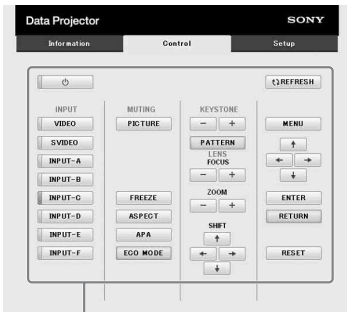
Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。



情報エリア

プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。



操作エリア

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

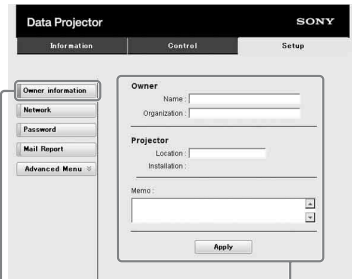
メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。

Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 メールレポートに記載される所有者情報を入力する。

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。



Owner information ボタン

2 メールレポートのタイミングを設定する。

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

Lamp Reminder (Lamp1) : ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプタイマー初期化を実行するとリセットされます。(27 ページ)

Maintenance Reminder : 任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。

Mail Report ボタン

The screenshot shows the 'Mail Report' configuration interface. It includes sections for 'Owner information', 'Report Timing', 'Address', and 'Mail Account'. The 'Report Timing' section has fields for 'Maintenance Report', 'Lamp Reminder (Lamp1)', and 'Elapsed Hours'. The 'Address' section has fields for 'Email Address', 'Report Timing', 'Maintenance', and 'Error'. The 'Mail Account' section has fields for 'Mail Address', 'Outgoing Mail Server (SMTP)', and options for 'Requires Authentication' and 'Requires the use of POP Authentication before send email (POP before SMTP)'. There are also fields for 'Incoming Mail Server (POP3)', 'Account Name', and 'Password'. At the bottom, there are buttons for 'Send test mail', 'Check the contents of the mail message', and 'Apply'.

3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

Mail Address : メールアドレスを入力します。

Outgoing Mail Server

(SMTP) : 送信メールサーバー (SMTP) のアドレスを入力します。

Required Authentication : メール送信に認証が必要な場合にチェックをします。

Requires the use of POP Authentication before send e-mail (POP before SMTP) : メール送信時に POP

認証を行う場合にチェックします。

Incoming Mail Server

(POP3) : POP3 認証で利用される受信メールサーバー (POP3) のアドレスを入力します。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

SMTP Authentication : メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックをします。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。

6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

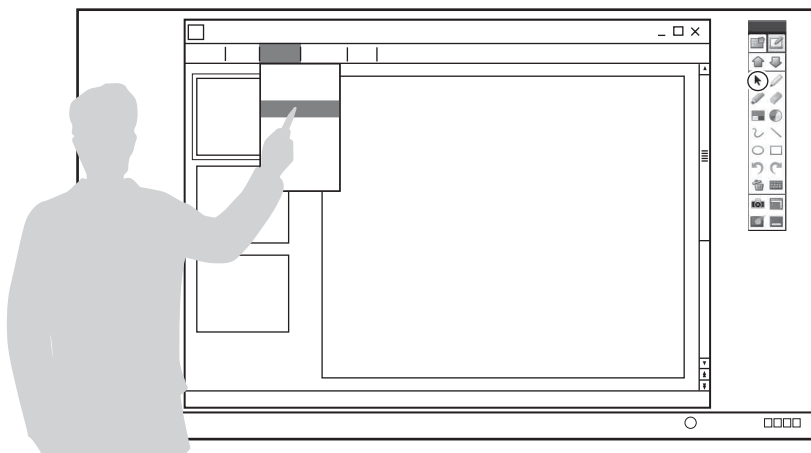
【注意】

- ・ Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- ・ 文字列が入力できるボックスに「|」「|」「|」「|」「|」「|」の6文字は使用できません。

インタラクティブ機能を使用する

インタラクティブペンデバイス（メイン、サブ）とアプリケーション Interactive Presentation Utility を使用することで、プロジェクターを様々な用途において、さらに効果的に使用することができます（VPL-SW535C/SW525Cのみ）。

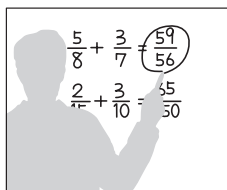
インタラクティブペンデバイスのマウス機能（メインのみ）を使用することで、投写画面上で PC やアプリケーションをマウス同様に操作できます。また、アプリケーションの描画機能を使用することで、マウスの代わりにインタラクティブペンデバイスで投写画面に映し出されたファイル上に直接書き込みし、保存することができます。



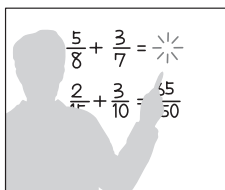
インタラクティブペンのマウス機能（メインのみ）の操作方法

- ・ 左クリック：ペンでスクリーンを一回タッチする
- ・ ダブルクリック：ペンでスクリーンを 2 回タッチする
- ・ 右クリック：スクリーン表面でペンのボタンを押す
- ・ ドラッグ アンド ドロップ：ペンでスクリーンをタッチしたまま移動する

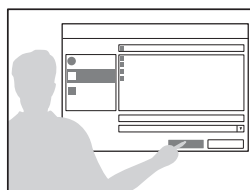
Interactive Presentation Utility を起動すれば、インタラクティブペンデバイスを使用することで投写画面上に線や図形などの描画ができます。また、ホワイトボードモードでは背景をお好みの画像やテンプレートから選択することもできます。



描く

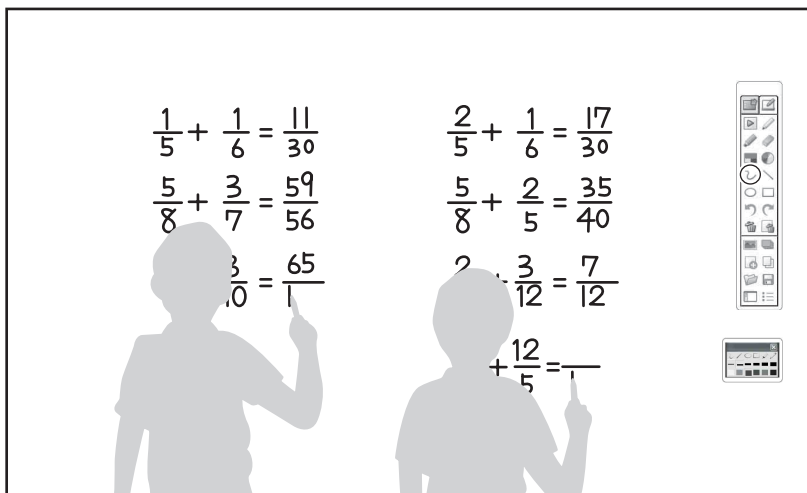


消す



保存する

インタラクティブペンデバイスのメインとサブを使用すれば、二人同時に描画できます。メインでは全ての機能が使用できますが、サブでは描画機能のみ使用できます。



この機能を使うためにはコンピューターに Interactive Presentation Utility をインストールする必要があります。Interactive Presentation Utility のソフトウェアアップデートについて、詳細はソニーのホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/vpl/support/download/index.html>

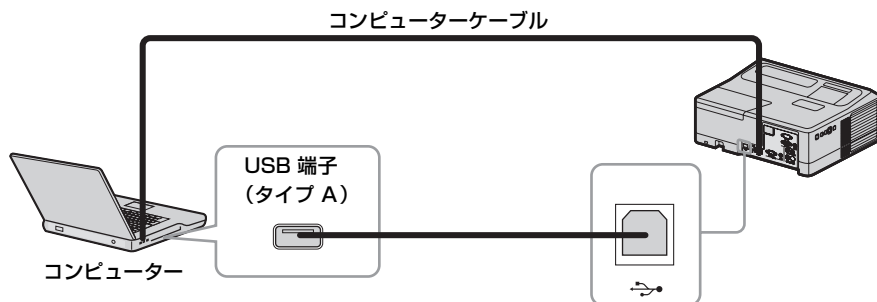
ご注意

インタラクティブ機能はペンデバイスの先から発する赤外線 프로젝ター本体の受光窓で感知することで作動します。以下の注意事項を必ず守ってください。

- ・受光窓に直接、蛍光灯の光やその他強い光が差さないようにしてください。
- ・ペン先や受光窓を手や物などで遮蔽しないでください。
- ・他の赤外線通信機器や強いノイズを発生する機器により誤動作、もしくは使用できなくなる場合があります。

USB ケーブルでコンピューターと接続する

本機とコンピューターがコンピューターケーブルで接続されていることを確認してください。コンピューターケーブルの接続について詳しくは「接続のしかた」(9 ページ) をご覧ください。



Windows の場合

Interactive Presentation Utility をインストールする

動作環境

- ・ CPU : Intel Pentium III 1.0GHz 相当以上
- ・ メモリー : 512MB 以上
- ・ ハードディスクの空き容量 : 100MB 以上
- ・ ディスプレイ : 解像度 SVGA (800 × 600 ピクセル) 以上
- ・ 対応 OS :
 - ・ Windows XP SP2 またはそれ以降 (Home/Professional Edition) *1
 - ・ Windows Vista non-SP またはそれ以降 (Starter *3/Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise) *1
 - ・ Windows 7 (Starter *3/Home Basic/Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise) *2

*1 : 32 ビット版のみ

*2 : 32 ビット版 / 64 ビット版

*3 : 32 ビット版

- 1 起動中のアプリケーションを全て終了する。
- 2 CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットし、CD-ROM 内の「InteractivePresentationUtility.exe」を開く。
- 3 ウィザードの指示に従ってアプリケーションをインストールする。

Interactive Presentation Utility をアンインストールするには、[スタート][すべてのプログラム]-[Interactive Presentation Utility]-[Uninstall]を選んでください。

Interactive Presentation Utility を起動する

[スタート][すべてのプログラム]-[Interactive Presentation Utility]-[Interactive Presentation Utility]を選んでください。

Interactive Presentation Utility が起動するとタスクバーにアイコンが表示され、画面上にツールバー (41 ページ) が表示されます。



タスクバー

プロジェクターとコンピューター接続時

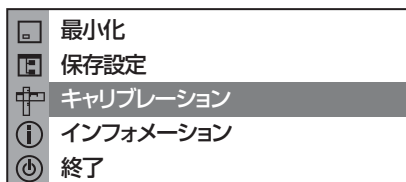


プロジェクターとコンピューター未接続時



初期設定を行う (キャリブレーション)

USB ケーブルでコンピューターとプロジェクターを接続してください。タスクバーのアイコンをクリックしてポップアップメニューを表示し、「キャリブレーション」を選択します。



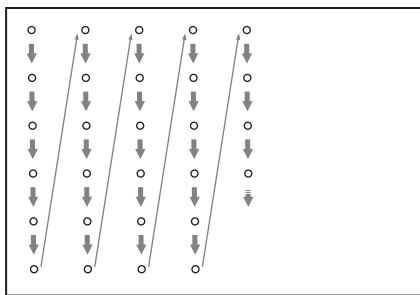
「キャリブレーション」はプロジェクターとコンピューター接続時に表示されます。

キャリブレーションとはスクリーン上のペン位置と投写面上のマウス位置を合わせる操作です。インタラクティブ機能を初めて使用する際に設定する必要があります。

解像度の変更、もしくはプロジェクターの移動によりインタラクティブペンデバイスとコンピューター上のマウスで位置ずれが生じることがあります。その場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

キャリブレーション (位置合わせ)

画面左上にドットが点滅表示されます。ドットの中心をインタラクティブペンデバイスのペン先で押してください (点滅から点灯に変わります)。ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。上記の手順を繰り返し、全てのドットが点灯表示に変わると、キャリブレーションは終了です。



ご注意

必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。

インタラクティブペンデバイスで操作する

インタラクティブペンデバイスで、画面に表示されているツールバーの機能を使用できるようになります。詳細は、「ツールバー」(41 ページ) をご覧ください。

Interactive Presentation Utility を終了する

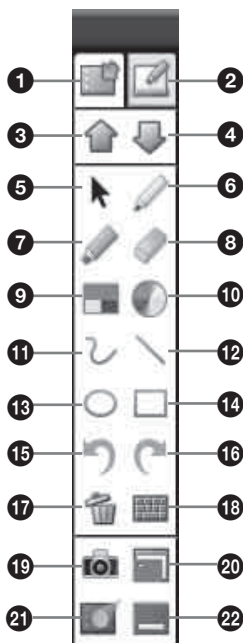
タスクバーのアイコンをクリックしてポップアップメニューを表示し、「終了」を選択してください。

ツールバー

Interactive Presentation Utility を起動するとツールバーが表示されます。イラストはインタラクティブペンデバイス (メイン) での表示です。長押しするとインタラクティブペンデバイス (サブ) のツールバーが表示されます。

メインインタラクティブペンデバイスの ツールバー

インタラクティブモード



- ① インタラクティブモード
- ② ホワイトボードモード
- ③ 前のページ
- ④ 次のページ
- ⑤ マウス
- ⑥ ペン
- ⑦ ハイライトペン
- ⑧ 消しゴム
- ⑨ カラーパレット
- ⑩ カラーパレット（詳細）
- ⑪ フリーライン
- ⑫ 直線ツール

⑬ 楕円形ツール

⑭ 長方形ツール

⑮ 取り消し

⑯ やり直し

⑰ クリア

投写画面上の描画内容を全て削除します。インタラクティブモードでは削除確認メッセージは表示されません。

⑱ スクリーンキーボード

テキスト入力のためのスクリーンキーボードを表示します。

⑲ スクリーンショットを保存

投写画面を保存します。

⑳ シェイド

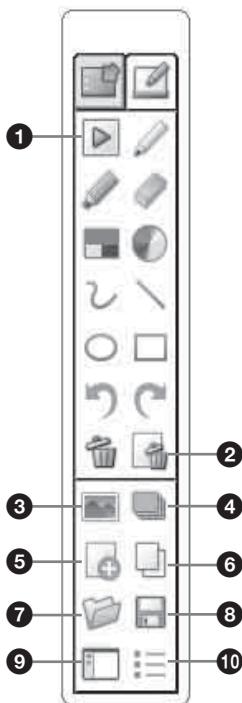
部分的に投写画面を隠します。シェイドのサイズ調整はインタラクティブペンデバイスで行います。

㉑ スポットライト

投写画面の一部を強調します。ポップアップメニューで、スポットライトの形状、スポットライトが当たっていない部分の色／透明度を調整します。

㉒ ツールバーを最小化

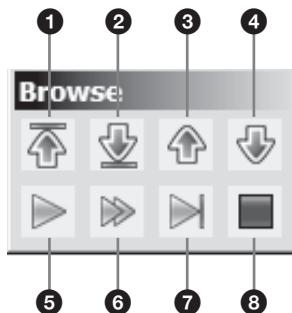
ホワイトボードモード



- ① ブラウズ
- ② ページ削除
- ③ 背景画像を選択
jpg/bmp/ppt 形式のファイルを背景画像として選択します。
- ④ 背景テンプレートを選択
背景画像をテンプレートから選択します。
- ⑤ 新規ページ
- ⑥ ページの複製
- ⑦ ファイルを開く
- ⑧ ホワイトボードイメージを保存
- ⑨ 一覧表示
現在編集中のホワイトボードイメージ一覧を表示します。

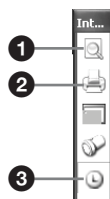
⑩ その他の機能

ブラウズ



- ① 最初のページ
最初のページへジャンプします。
- ② 最後のページ
最後のページへジャンプします。
- ③ 前のページ
- ④ 次のページ
- ⑤ 現在のページを再生
- ⑥ 最後のページまで再生
- ⑦ 再生完了
現在のページの再生をスキップします。
- ⑧ 再生停止

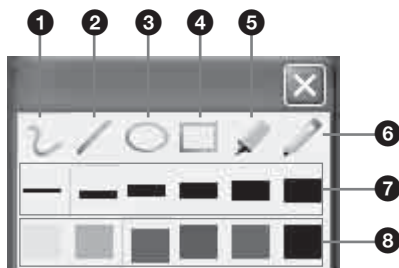
その他の機能



- ① 印刷プレビュー
- ② 印刷
- ③ タイムスタンプ

サブインタラクティブペンデバイスの ツールバー

長押しするとインタラクティブペンデバイス（サブ）のツールバーが表示されます。



- ① フリーライン
- ② 直線ツール
- ③ 楕円形ツール
- ④ 長方形ツール
- ⑤ ハイライトペン
- ⑥ ペン
- ⑦ 線幅
- ⑧ ストローク色

Mac の場合

Interactive Presentation Utility をインストールする

動作環境

- ・ CPU : Intel Core 2 Duo 1.5 GHz 相当以上
- ・ メモリー : 1GB 以上
- ・ ハードディスクの空き容量 : 100MB 以上
- ・ ディスプレイ : 解像度 SVGA (800 × 600 ピクセル) 以上
- ・ 対応 OS : OS X 10.6 またはそれ以降

インタラクティブ機能を使用するためには IPU driver と Interactive Presentation Utility のインストールが必要です。

- 1 起動中のアプリケーションを全て終了する。
- 2 CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットし、CD-ROM 内の [IPU driver.pkg] を開く。
- 3 画面の指示に従ってアプリケーションをインストールする。
- 4 CD-ROM 内の [Interactive Presentation Utility.pkg] を開く。
- 5 画面の指示に従ってアプリケーションをインストールする。
Presentation Utility と IPU driver をアンインストールするには、アプリケーションフォルダの [Interactive Presentation Utility] フォルダと [IPU driver] フォルダをゴミ箱に移動し、ゴミ箱を空にしてください。

Interactive Presentation Utility を起動する

Interactive Presentation Utility を使用するには IPU driver の起動も必要です。

1 [アプリケーション] - [IPU driver] を開き、[IPU driver.app] をダブルクリックする。

2 [アプリケーション] - [Interactive Presentation Utility] を開き、[Interactive Presentation Utility.app] をダブルクリックする。

それぞれのアプリケーションを起動すると Dock にアイコンが表示されます。また、Interactive Presentation Utility が起動すると画面上にツールバー (47 ページ) が表示されます。



Dock

プロジェクターとコンピューター接続時



プロジェクターとコンピューター未接続時



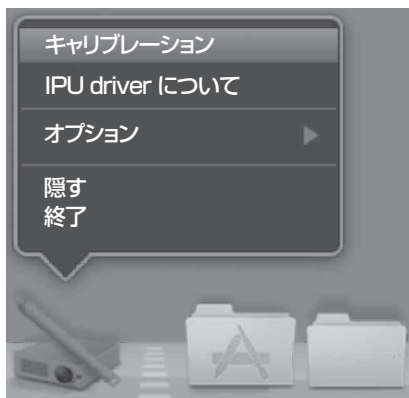
IPU driver のアイコン



Interactive Presentation Utility
のアイコン

初期設定を行う (キャリブレーション)

USB ケーブルでコンピューターとプロジェクターを接続してください。Dock 上の IPU driver アイコンを右クリックしてメニューを表示し、「キャリブレーション」を選択します。



「キャリブレーション」はプロジェクターとコンピューター接続時に表示されます。

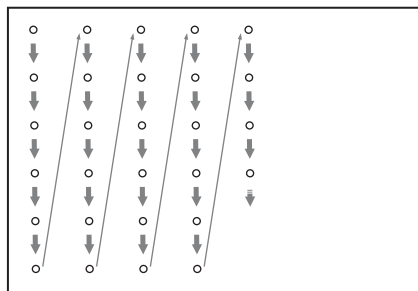
キャリブレーションとはスクリーン上のペン位置と投写面上のマウス位置を合わせる操作です。インタラクティブ機能を初めて使用する際に設定する必要があります。

解像度の変更、もしくはプロジェクターの移動によりインタラクティブペンデバイスとコンピューター上のマウスで位置ずれが生じることがあります。その場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

キャリブレーション (位置合わせ)

画面左上にドットが点滅表示されます。ドットの中心をインタラクティブペンデバイスのペン先で押してください (点滅から点灯に変わります)。

ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。上記の手順を繰り返し、全てのドットが点灯表示になると、キャリブレーションは終了です。



ご注意

必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。

インタラクティブペンデバイスで操作する

インタラクティブペンデバイスで、画面に表示されているツールバーの機能を使用できるようになります。詳細は、「ツールバー」(47 ページ) をご覧ください。

Interactive Presentation Utility を終了する

Dock 上の IPU driver と Interactive Presentation Utility のアイコンをそれぞれ右クリックしてポップアップメニューを表示し、「終了」を選択してください。

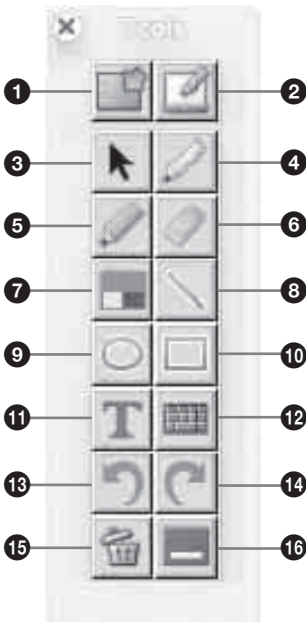
ツールバー

Interactive Presentation Utility を起動するとツールバーが表示されます。

イラストはインタラクティブペンデバイス（メイン）での表示です。長押しするとインタラクティブペンデバイス（サブ）のツールバーが表示されます。

メインインタラクティブペンデバイスのツールバー

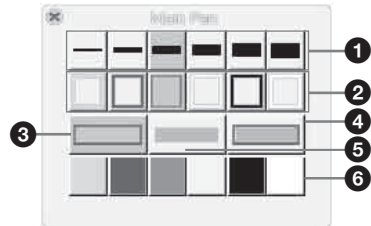
インタラクティブモード



- 1 インタラクティブモード
- 2 ホワイトボードモード
- 3 マウス
- 4 描画ツール
- 5 ハイライトペン
- 6 消しゴム
- 7 カラーパレット

- 8 直線ツール
- 9 楕円形ツール
- 10 長方形ツール
- 11 テキスト
- 12 スクリーンキーボード
- 13 取り消し
- 14 やり直し
- 15 クリア
- 16 最小化

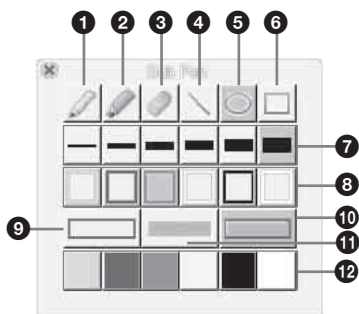
カラーパレット



- 1 線幅
- 2 ストローク色
- 3 ストロークのみ
- 4 塗りつぶしとストローク
- 5 塗りつぶしのみ
- 6 塗りつぶし色

サブインタラクティブペンデバイスのツールバー

長押しするとインタラクティブペンデバイス（サブ）のツールバーが表示されます。



- ① フリーライン
- ② ハイライトペン
- ③ 消しゴム
- ④ 直線ツール
- ⑤ 楕円形ツール
- ⑥ 長方形ツール
- ⑦ 線幅
- ⑧ ストローク色
- ⑨ ストロークのみ
- ⑩ 塗りつぶしとストローク
- ⑪ 塗りつぶしのみ
- ⑫ 塗りつぶし色

インジケータの見かた

インジケータの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表にしたがいがい対処してください。

ON / STANDBY インジケータ

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	無信号時設定（ランプオフ）状態です（29 ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか（3 ページ、3 ページ）。 ・エアフィルターがつまっていないか（56 ページ）。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。（31 ページ）
6 回点滅	電源コードを抜き、ON / STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP/COVER インジケータ

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容にしたがって対処してください。
2 回点滅	ランプカバー、またはエアフィルターカバーが確実に取り付けられていません（54 ページ、56 ページ）。
3 回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（54 ページ）。

メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表にしたがいが対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。 1 分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアフィルターがつまっていないか。 ・設置設定の設置角度が正しく設定されているか。	3、3、31、 56
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	63
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」をオートまたは入力されている信号に合わせて設定してください。	29
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアフィルターを掃除してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	54、56
本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は、高地モードを入れてお使いください。	高地（海拔 1500m 以上）で使用していない場合は、以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアフィルターがつまっていないか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。	3、3、31、 56
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	—
パネルキーロック中です！	パネルキーロックが設定されています。	28
まもなく電源オフします。 I/⏻ キーで復帰できます	電源オフボタンが押され、まもなくシャットダウンされます。 I/⏻ ボタンをもう一度押すと、シャットダウンが取り消され、電源オン状態に戻ります。 すぐに電源オフにしたい場合は、I/⏻ ボタンを数秒間長押ししてください。	18
ランプ減光中	信号無変化時設定により、ランプ出力を低減させている時に表示されます。信号変化や操作（リモコンまたは操作部）を検出すると復帰します。	29

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	-
	「パネルキーロック」が「入」になっていると、本体のI/O ボタンで電源を入れることができません。	28
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	54
	エアフィルターまたはエアフィルターカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	56
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。 ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	14
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	14
	消画（ミュートイング）されていないことを確認してください。	6
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	28
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。	5、23、25
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	5、17、31

症状	対処のしかた	ページ
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	21、29
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプ使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	32、54
	「信号無変化時設定」が設定されている。	29
	消画中は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	29
	映像信号が入力されていない場合は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	-
画面が明るくなったり暗くなったりする	ランプ輝度を低減させている時間が長く続くと、一時的にランプ出力が上昇することがありますが故障ではありません。	-
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	15
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。	-
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9
音が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確認してください。	-
	「スピーカー」が「切」に設定されていると音が出ません。	27
	消音（ミュートイング）されていると音が出ません。	6
	音量が最小になっていないことを確認してください。	6、27
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	-
	電池が消耗していないことを確認してください。	-

症状	対処のしかた	ページ
ファンの音が気になる	<p>以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している 	29、31
	<p>吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。</p>	3、3

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。(49、50 ページ)
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-E212 (別売) をお使いください。

⚠ 警告

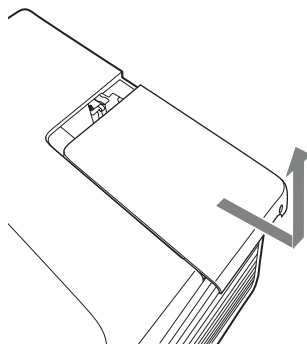
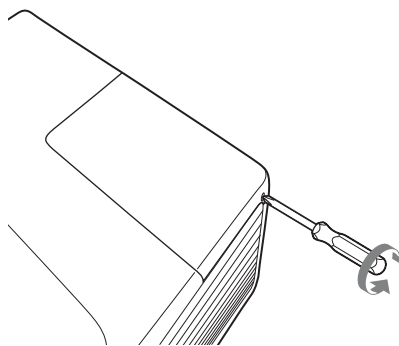
- ・電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを十分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
- ・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠ 注意

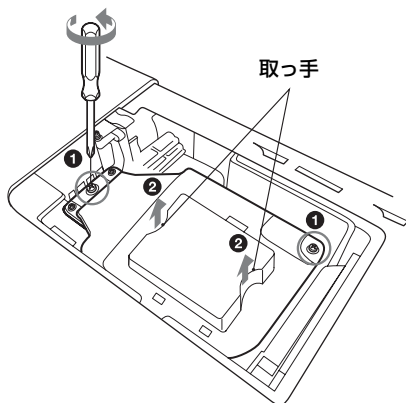
- ・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

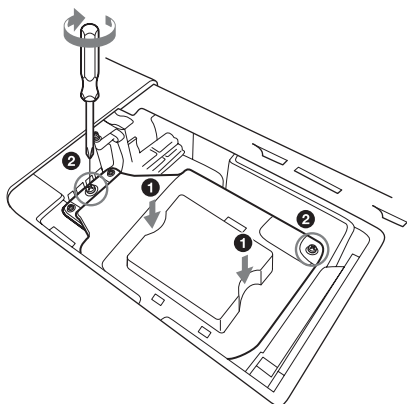
2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ (1 本) をゆるめ、ランプカバーを開く。



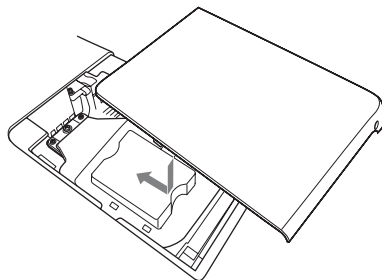
- 3 ランプのネジ (2 本) をゆるめ、
取っ手を持ってランプを取り出す。



- 4 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ (2 本) を締める。



- 5 ランプカバーを閉じ、ネジ (1 本) を締める。



ご注意

ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

- 6 電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。

- 7 ランプタイマーの初期化を行う。

今回の交換時期をお知らせするために、ランプタイマーを初期化します。機能設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER ボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。(27 ページ)

エアフィルターを掃除する

投写画面に表示されるメッセージにエアフィルター掃除のお知らせが表示された場合は、エアフィルターを掃除してください（49 ページ、50 ページ）

エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

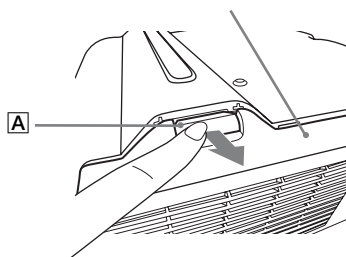
⚠ 注意

エアフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

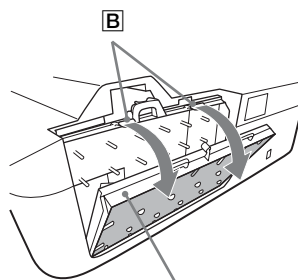
- 1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 エアフィルターカバーを開けてエアフィルターホルダーを取り出す。

図のように **A** の部分を押し、エアフィルターカバーを矢印の方向に開けてください。その後、中にあるエアフィルターホルダーを取り外してください。

エアフィルターカバー



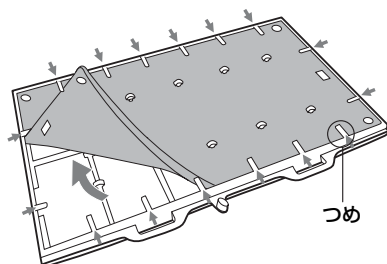
エアフィルターホルダーは、**B** の部分を押し、矢印の方向に取り外してください。



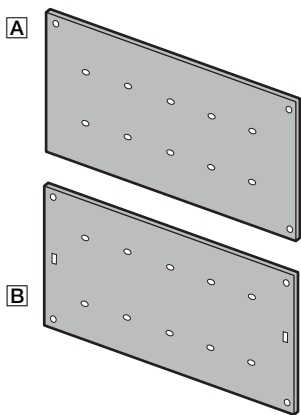
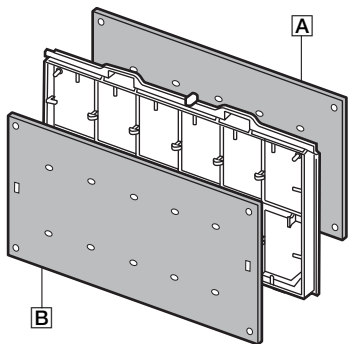
エアフィルターホルダー

- 3 掃除機でエアフィルターを掃除する。

図のようにエアフィルターを取りはずし、エアフィルターを掃除機で掃除してください。



エアフィルターは2枚重ね（**A**、**B**）です。



4 エアフィルターカバーを元に戻す。

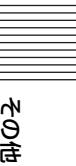
ご注意

エアフィルターカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

仕様

項目	項目説明	
型名	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525/ VPL-SX535	
投写方式	3LCD 方式	
表示素子	有効表示サイズ	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 : 0.75 型 (19.0 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10 VPL-SX535 : 0.63 型 (16.0 mm)、3 枚、アスペクト比 4 : 3
	有効画素数	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 : 3,072,000 画素 (1280 × 800 ピクセル、3 枚) VPL-SX535 : 2,359,296 画素 (1024 × 768 ピクセル、3 枚)
投写レンズ	ズーム	手動ズーム 約 1.05 倍
	フォーカス調整	手動
光源	高圧水銀ランプ 210 W 型	
画面サイズ	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 : 70 ~ 130 型 (1.78 m ~ 3.30 m) VPL-SX535 : 60 ~ 110 型 (1.52 m ~ 2.79 m)	
有効光束 (明るさ) ^{*1}	VPL-SW535C/SW535/VPL-SX535 : 3000lm VPL-SW525C/SW525: 2500lm (ランプモード : 高)	
スピーカー	VPL-SW535C/SW525C/SW525: 10W × 1 (モノラル)	
	VPL-SW535/VPL-SX535 : 1W × 1 (モノラル)	
対応走査周波数 ^{*2}	水平 : 14 ~ 93 kHz、垂直 : 47 ~ 93 Hz	
表示可能解像度 ^{*2}	コンピューター信号入力時	最大入力解像度 : 1600 × 1200 ピクセル (リサイジング表示) パネル表示解像度 : VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 : 1280 × 800 ピクセル VPL-SX535 : 1024 × 768 ピクセル
	ビデオ信号入力時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p
カラー方式	NTSC ³⁵⁸ 、PAL、SECAM、NTSC ⁴⁴³ 、PAL-M、PAL-N	

項目	項目説明
型名	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525/ VPL-SX535
コンピューター／ 入力 A ビデオ入出力	RGB/Y Pb Pr 入力端子 ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 音声入力端子 ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 B (VPL-SW535C/ SW525C/ SW535/SW525 のみ)	HDMI 入力端子 ：HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
入力 B (VPL-SX535 の み)	RGB 入力端子 ：ミニ D-sub 15 ピン 凹、RGB 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 音声入力端子 ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
S ビデオ入力	S ビデオ入力端子 ：ミニ DIN 4 ピン、Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、C 信号：(バースト信号) 0.286 (NTSC) /0.3 (PAL/SECAM) Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端 音声入力端子 ：ピンジャック×2、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
ビデオ入力	ビデオ入力端子 ：ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 音声入力端子 ：S ビデオ入力と共用
出力	モニター出力端子 ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 /Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：HD、VD 4 V (オープン)、1 Vp-p (75 Ω)、正負極性 音声出力端子 ：ステレオミニジャック、ステレオ、1 Vrms (ボリューム最大、500 mVrms 入力時)、出力インピーダンス 5 kΩ
その他の端子	RS-232C 端子 ：D-Sub 9 ピン凸 LAN 端子 ：RJ45、10BASE-T/100BASE-TX USB 端子 ：タイプ B (VPL-SW535C/SW525C のみ)



その他

項目	項目説明
型名	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525/ VPL-SX535
使用温度 (使用湿度)	0 ~ 40 °C (35 ~ 85% (結露なきこと))
保存温度 (保存湿度)	- 20 ~ +60 °C (10 ~ 90% (結露なきこと))
電源	VPL-SW535C/SW525C/SW525 : AC 100V、 3.5 A、50/60 Hz VPL-SW535 : AC 100V、3.3 A、50/60 Hz VPL-SX535 : AC 100 V、3.6 A、50/60 Hz
消費電力	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 : 290W/ VPL-SX535 : 310W
待機電力	VPL-SW535C/SW525C/SW525 : 7.5 W (スタン バイモード「標準」時) / 0.2 W (スタンバイ モード「低」時) VPL-SW535/SX535 : 8.0 W (スタンバイモード 「標準」時) / 0.3 W (スタンバイモード「低」 時)
発熱量	VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525 : 989 BTU VPL-SX535 : 1,057 BTU
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 384.4 × 161.1 × 423.4 mm 約 384.4 × 122.5 × 423.4 mm (突起部含まず)
質量	VPL-SW535C/SW525C : 約 7.1 kg VPL-SW535/SW525/SX535 : 約 7.0 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサ リ - *3*4	プロジェクターランプ LMP-E212 (交換用) インタラクティブペンデバイス IFU-PN100M/ IFU-PN100S

で注意

- *1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。
- *2 詳細は、対応信号表をご覧ください (63 ページ)。
- *3 ここに記載されている別売りアクセサリは、2013年2月現在のものです。
- *4 別売アクセサリの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口にご確認ください。

本機（別売アクセサリを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

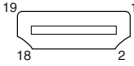
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。



その他

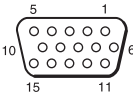
ピン配列

HDMI 端子 (HDMI、凹)



1	T.M.D.S. Data2 +	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock -
3	T.M.D.S. Data2 -	13	N.C.
4	T.M.D.S. Data1 +	14	RESERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	T.M.D.S. Data1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0 +	17	DDC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 -	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock +		

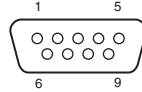
RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号

7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

RS-232C 端子 (D-Sub 9 ピン、凸)



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

USB 端子 (タイプ B、凹)



1	VCC (+5V)
2	Data-
3	Data+
4	Ground

対応信号一覧*1

コンピューター信号

信号名	VPL-SW535C/ SW525C/ SW535/ SW525		VPL-SX535	
	入力端子		入力端子	
	RGB/ YP _b P _R	HDMI	RGB/ YP _b P _R	RGB
VGA-1 (VGA350)	●		●	●
VESA 85 (VGA350)	●		●	●
VGA-2 (TEXT)/ VESA70	●		●	●
VESA 85 (VGA400)	●		●	●
VESA 60	●	●	●	●
Mac 13	●		●	●
VESA 72	●		●	●
VESA 75 (IBM M3)	●		●	●
VESA 85 (IBM M4)	●		●	●
800 × 600 VESA 56	●		●	●
800 × 600 VESA 60	●	●	●	●
800 × 600 VESA 72	●		●	●
800 × 600 VESA 75 (IBM M5)	●		●	●
800 × 600 VESA 85	●		●	●
Mac 16	●		●	●
XGA VESA 60	●	●	●	●
XGA VESA 70	●		●	●
XGA VESA 75	●		●	●

信号名	VPL-SW535C/ SW525C/ SW535/ SW525		VPL-SX535	
	入力端子		入力端子	
	RGB/ YP _b P _R	HDMI	RGB/ YP _b P _R	RGB
XGA VESA 85	●		●	●
1152 × 864 VESA 70	●		●	●
1152 × 864 VESA 75	●		●	●
1152 × 864 VESA 85	●		●	●
SUN LO	●		●	●
1280 × 960 VESA 60	●	●	●	●
1280 × 960 VESA 75	●		●	●
SXGA VESA 60	●	●	●	●
SXGA VESA 75	●		●	●
SXGA VESA 85	●		●	●
SXGA+/60	●	●	●	●
UXGA VESA 60	●	●	●	●
1280 × 768/60	●	●	●	●
1280 × 720/60	●	● ^{*2}	●	●
1920 × 1080/60		● ^{*3}		
1366 × 768/60	●	●	●	●
1440 × 900/60	●	●	●	●
1280 × 800/60	●	●	●	●

その他

デジタル TV 信号

信号名	VPL-SW535C/ SW525C/ SW535/ SW525		VPL-SX535
	入力端子		入力端子
	RGB/ YP _B P _R	HDMI	RGB/YP _B P _R
480/60i	●	●	●
576/50i	●	●	●
480/60p(倍速 NTSC)	●	●	●
576/50p(倍速 PAL)	●	●	●
1035/60i, 1080/ 60i	●	●	●
1080/50i	●	●	●
720/60p	●	●	●
720/50p	●	●	●
1080/60p		●	
1080/50p		●	

・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

*2：720/60p の動画配信信号として識別されます。

*3：1080/60p の動画配信信号として識別されます。

アナログ TV 信号

信号名	VPL-SW535C/ SW525C/ SW535/ SW525		VPL-SX535
	入力端子		入力端子
	Video/ Svideo	Video/ Svideo	Video/ Svideo
60Hz	●	●	●
50Hz	●	●	●

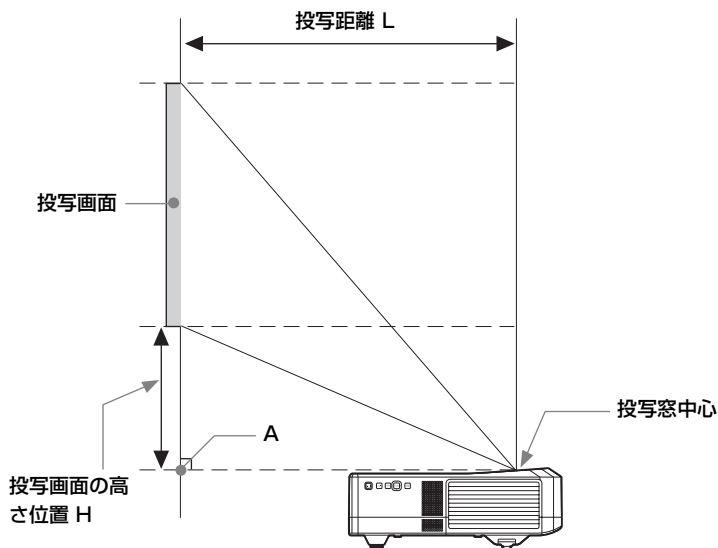
ご注意

*1：・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。

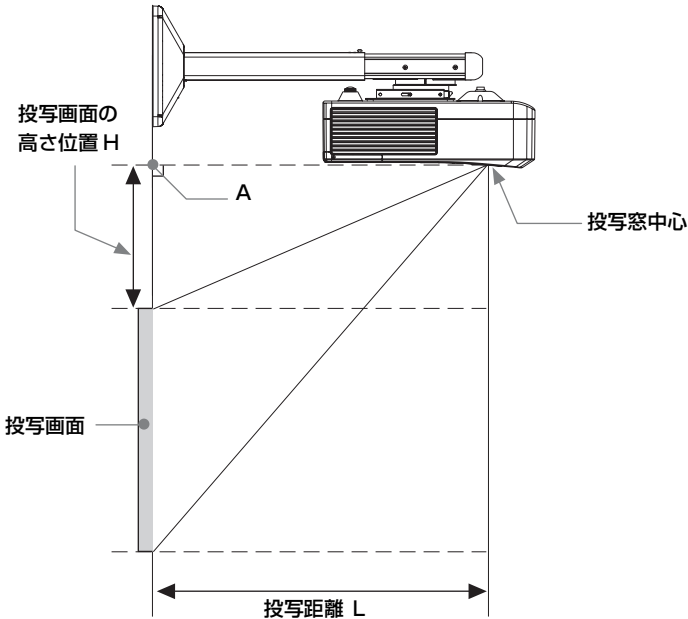
投写距離とレンズシフト量

投写距離は、投写窓中心から投写面までの距離です。投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写画面の高さは、投写窓中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（壁設置時は上端）までの距離です。

床置き設置時



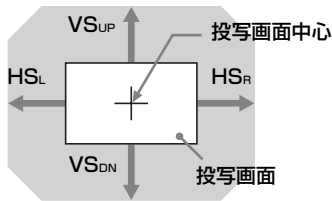
壁設置時



L：投写距離

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

レンズシフト量は、投写画面の中心を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲

VS_{UP}：垂直レンズシフト量（上） [%]

VS_{DN}：垂直レンズシフト量（下） [%]

HS_R：水平レンズシフト量（右） [%]

HS_L：水平レンズシフト量（左） [%]

投写距離表 (VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525)

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.416-0.428	0.138
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	0.475-0.489	0.159
90 型 (2.29m)	1.94 × 1.21	0.534-0.550	0.179
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	0.594-0.611	0.200
130 型 (3.30m)	2.80 × 1.75	0.771-0.795	0.262

投写距離計算式 (VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525)

D：投写画面サイズ（対角）

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

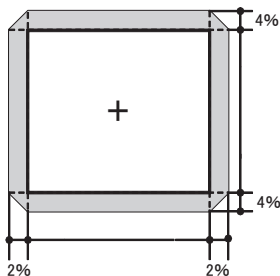
単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
$L=0.005931 \times D-0.0001$	$L=0.006119 \times D-0.0001$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
$H=0.00207 \times D-0.00674$

レンズシフト量 (VPL-SW535C/SW525C/SW535/SW525)



$$VS_{UP}[\%]=VS_{DN}[\%]=4 - 2.000 \times (HS_R[\%] \text{ or } HS_L[\%])$$

$$HS_R[\%]=HS_L[\%]=2 - 0.500 \times (VS_{UP}[\%] \text{ or } VS_{DN}[\%])$$

その他

投写距離表 (VPL-SX535)

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
60 型 (1.52m)	1.22 × 0.91	0.424-0.436	0.163
70 型 (1.78m)	1.42 × 1.07	0.495-0.509	0.192
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	0.566-0.581	0.220
90 型 (2.29m)	1.83 × 1.37	0.636-0.654	0.249
110 型 (2.79m)	2.24 × 1.68	0.778-0.800	0.305

投写距離計算式 (VPL-SX535)

D：投写画面サイズ（対角）

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

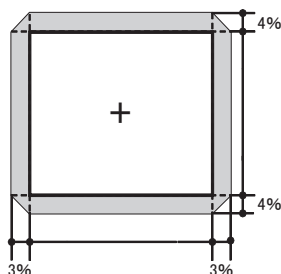
単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
$L=0.007067 \times D-0.0001$	$L=0.007275 \times D-0.0001$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
$H=0.00284 \times D-0.00674$

レンズシフト量 (VPL-SX535)

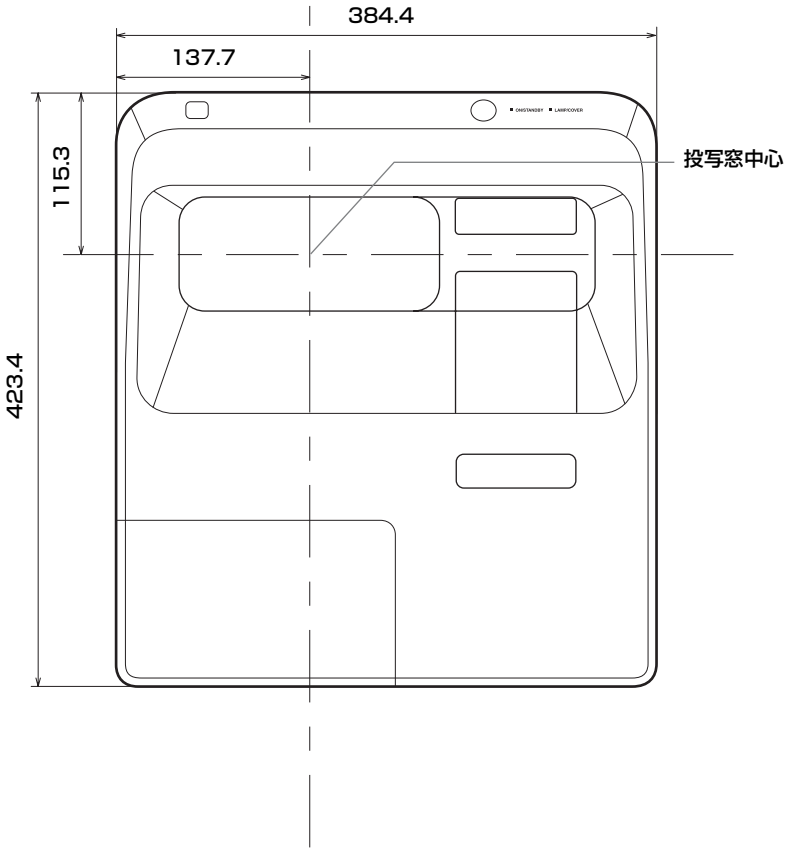


$$VS_{UP}[\%]=VS_{DN}[\%]=4 - 1.333 \times (HS_R[\%] \text{ or } HS_L[\%])$$

$$HS_R[\%] = HS_L[\%]=3 - 0.750 \times (VS_{UP}[\%] \text{ or } VS_{DN}[\%])$$

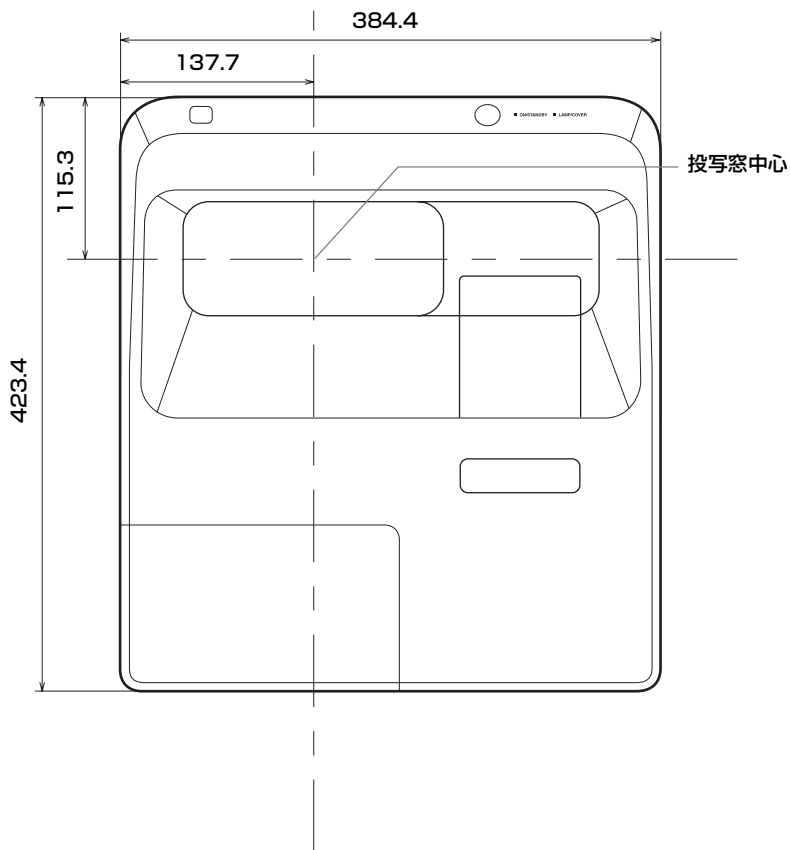
寸法図

本体上面 (VPL-SW535C/SW525C)



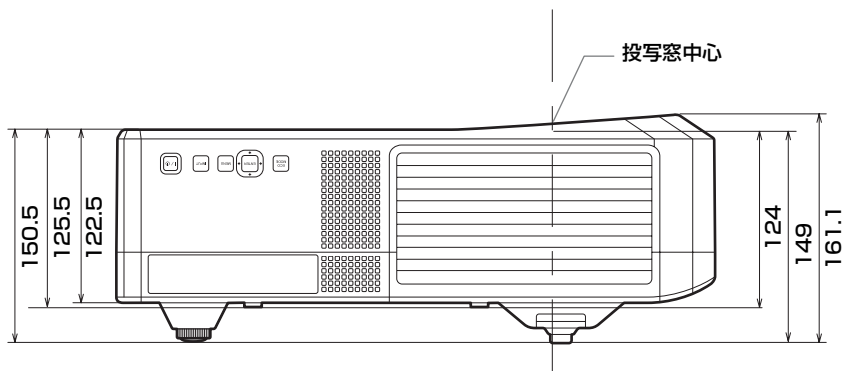
その他

本体上面 (VPL-SW535/SW525/VPL-SX535)



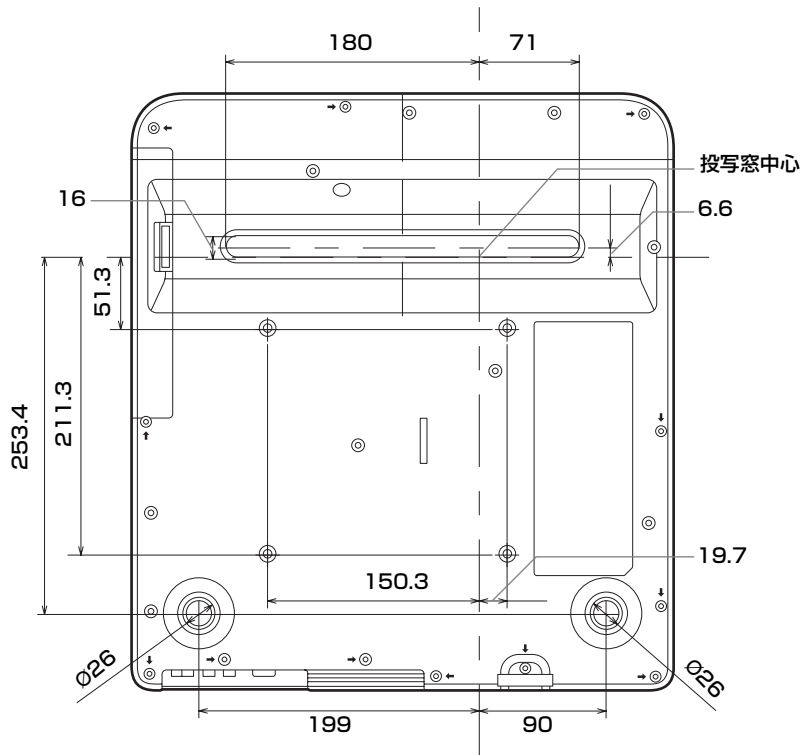
单位：mm

本体側面



単位：mm

本体底面

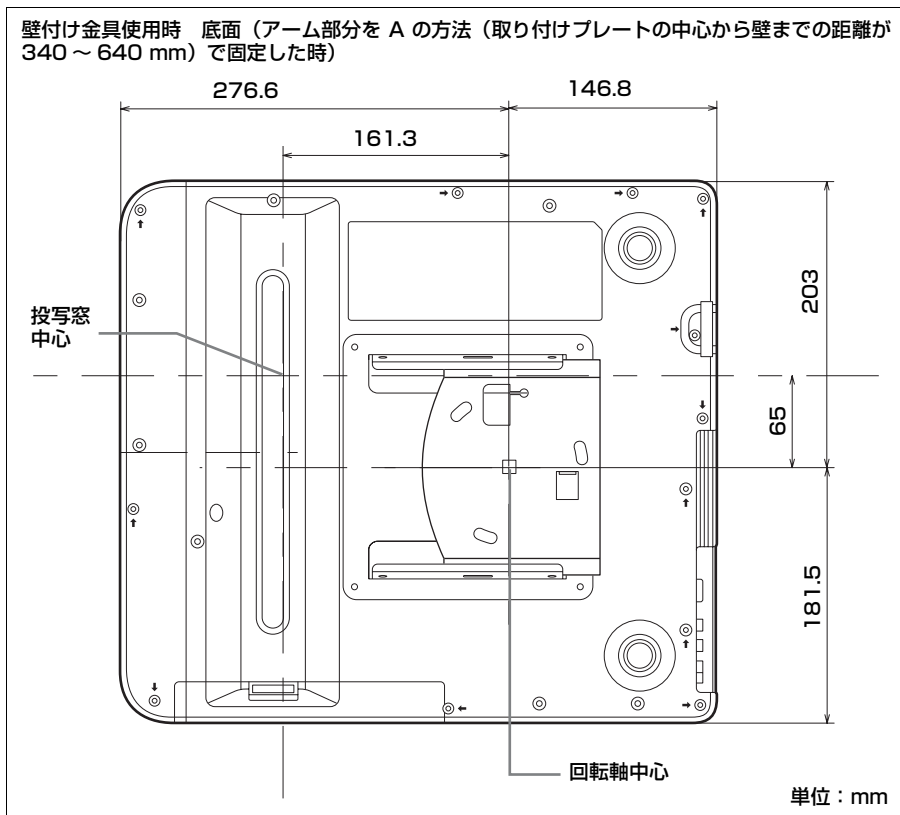
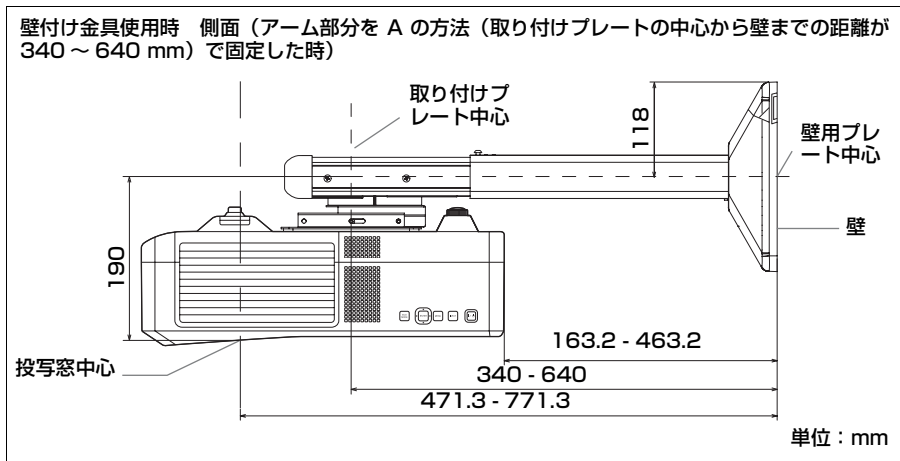


単位：mm

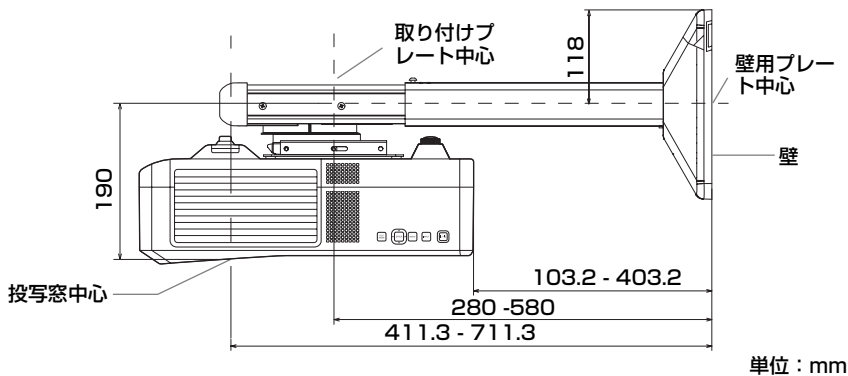
その他

⚠ 注意

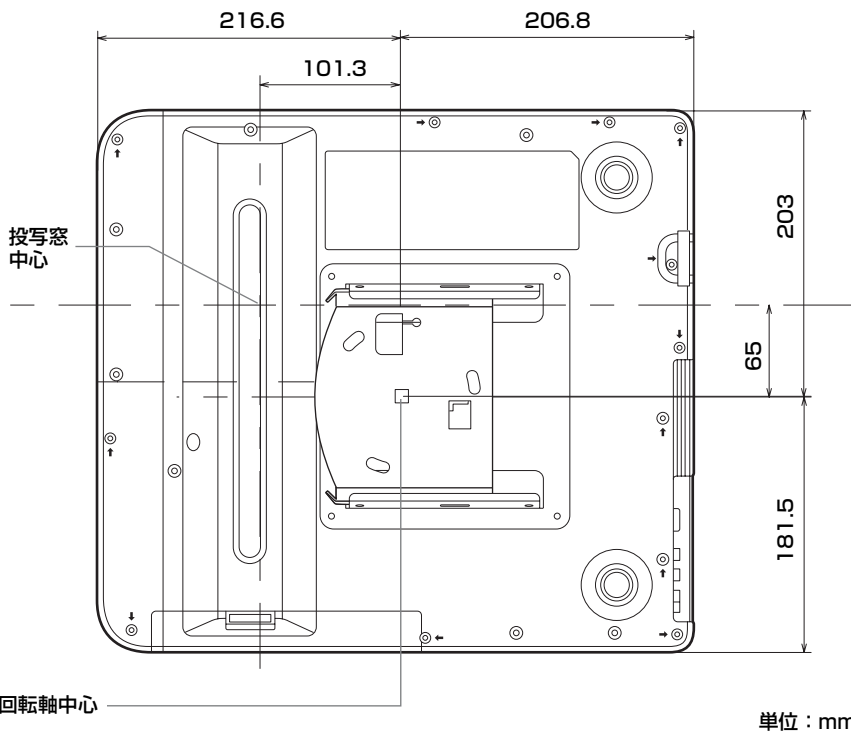
壁への取り付け、移動は絶対に自分で行わないでください。必ずお買い上げ店へご相談ください。



壁付け金具使用時 側面（アーム部分を B の方法（取り付けプレートの中心から壁までの距離が 280 ~ 580 mm）で固定した時）



壁付け金具使用時 底面（アーム部分を B の方法（取り付けプレートの中心から壁までの距離が 280 ~ 580 mm）で固定した時）



その他

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → 「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

索引

あ

明るさ	21
脚	3, 16
アスペクト	5, 23, 25
色あい	21
色温度	21
色の濃さ	21
インタラクティブ機能	37
インタラクティブペンデバイス	8
エアフィルターカバー／吸気口	3
エアフィルターを掃除する	56
映像を投写する	13
エコモード	6
オーディオミューティング	6
音量	6

か

外部モニター、オーディオ機器との接続	12
各部の名前と働き	3
画質設定	21
画質モード	21
画像反転	31
画面表示	28
画面モード	23
ガンマモード	22
機能設定	27
キャリブレーション	40
高地モード	31
故障かな？と思ったら	51
コントラスト	21
コントロール画面	33
コンピューターとの接続	9

さ

シャープネス	21
出力	5
仕様	58
情報	32
シリアル No.	32
信号の種類	32
信号無変化時設定	29

垂直周波数	32
水平周波数	32
スタートアップイメージ	27
スマート APA	27
セキュリティロック	28
接続端子	4
接続端子部	3
接続／電源設定	29
設置設定	31
センサー受光窓	3
操作設定	28
操作部	5

た

対応信号一覧	63
台形補正	5, 17
デジタルズーム	6
電源コンセント	5
電源を入れる	5, 13
電源を切る	5, 18
投写距離とレンズシフト量	65
盗難防止用バー	3
盗難防止ロック	3

な

入力	4
入力信号調整	23
入力を切り換える	5
ネットワーク機能を利用する	33

は

排気口	3
パネルキーロック	28
ピクチャーミューティング	6
ビデオ機器との接続	10
表示言語	28
ピン配列	62
フェーズ、ピッチ、シフト	23
フォーカス	15
フォーカスリング	3
フリーズ	6
別売りアクセサリ	60
保証書とアフターサービス	74
本体	3

ま

無信号時設定	29
無信号入力時背景	27
メールレポート	35
メッセージ一覧	50
メニューの操作のしかた	19
モデル名	32

ら

ランプカバー	3
ランプ使用時間	32
ランプタイマー初期化	27
ランプを交換する	54
リモコン	5
リモコン受光部	3

A

APA	5
-----------	---

C

CC ディスプレイ	27
-----------------	----

H

H (水平)	23
--------------	----

L

LAMP/COVER インジケータ	3, 49
LAN 端子	5

R

RS-232C 端子	5
------------------	---

商標について

- ・ Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくはは米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- ・ AMX は、AMX Corporation の商標です。
- ・ その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。

<http://www.sony.jp/professional/support/>

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル …………… **0120-788-333**

携帯電話・PHS・一部のIP電話など

フリーダイヤルがご利用になれない場合 …… **0466-31-2588**

FAX **0120-333-389** (または**0466-31-2595**)

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および休業日は除く)

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>